

平成 18 年 7 月 26 日

東京都板橋区小豆沢 3-6-10

オリエンタル酵母工業株式会社

オリエンタル酵母工業 第 1 四半期連結決算発表

売上高は 155 億 76 百万円（前年同期比 5.6%増）で過去最高

平成 19 年 3 月期 第 1 四半期決算

オリエンタル酵母工業㈱の平成 19 年 3 月期第 1 四半期の業績につきましては、売上高は過去最高を更新いたしました。

食品部門は、新製品や新メニューをお客様に対して総合的に提案できる施設として昨年竣工いたしました P & B センターの活用を充実させ、ユーザーへの提案力強化と積極的なコラボレーションによる拡販を図ったことにより、イースト、マヨネーズ・総菜等の売上高は好調に推移いたしました。また、フラワーペースト類の売上高も前年同期並で、食品部門の売上高は前年同期を上回りました。

バイオ部門は、バイオニュートリショナル製品や実験動物関連、受託試験等の研究支援事業は順調に推移いたしました。一方、生化学製品・免疫製品や需要不振の続く養魚用飼料の出荷は前年同期を下回り、バイオ部門の売上高はほぼ前年同期並となりました。

これらにより、全体の売上高は 155 億 76 百万円（前年同期比 5.6%増）となりました。利益面におきましては、イーストの主要原料である糖蜜を始めとした糖類等原材料価格の値上がり、更には原油価格の高騰等による物流費やエネルギー費上昇の吸収が遅れ、経常利益は 5 億 99 百万円（前年同期比 11.2%減）、四半期純利益は 3 億 24 百万円（前年同期比 17.7%減）となりました。

平成 19 年 3 月期 通期連結業績予想

平成 19 年 3 月期におきましては、食品部門の更なる総合的な拡販施策と、バイオ部門の本年 3 月に稼動いたしましたバイオイノベーションセンターにおける遺伝子・細胞・動物 3 分野での研究開発業務の効率化とスピードアップ及び新製品の開発・拡販を、継続的に推進してまいります。また、製・販・管のトータルローコストの追求により、諸原料の価格上昇等の収益圧迫要因を低減させてまいります。

通期の連結業績につきましては、売上高は 623 億円(前期比 3.7%増)と過去最高を更新する見込みで、経常利益は 26 億 40 百万円(前期比 1.2%増)、当期純利益は 15 億円(前期比 0.4%増)を見込み、増収増益の予想です。

以上